

<日時> 平成13年11月10日(土曜日) 9時ころ~16時ころ

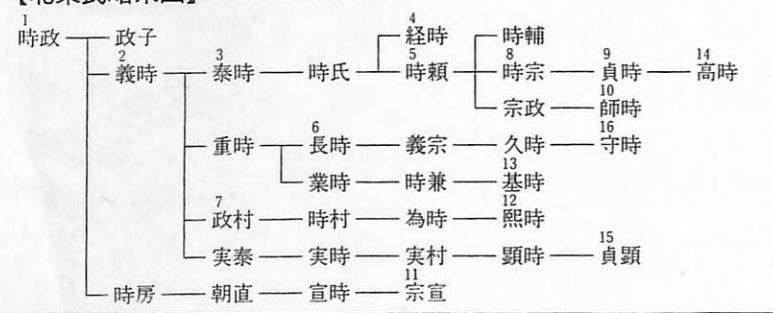
<主要行程> 八幡宿7時13分乗車(前の方) - 千葉駅7時34分(⑦番線総武快速、前1~3両分散乗車)北鎌倉9時05分 - 円覚寺 - 東慶寺 - 浄智寺 - 亀ヶ谷切通し - 葉王寺 - 英勝寺 - 鶴岡八幡宮(昼食) - 宝戒寺 - 東勝寺跡、高時腹切やぐら - 若宮大路幕府跡 - 若宮大路、段かずら - 小町通り(自由行動) - 鎌倉16時45分乗車(最後尾車両) - 八幡宿駅18時4分着

山岸弘明

1) はじめに (電車内で一読してください)

- ①鎌倉(城)と鎌倉幕府=南面を海、三面を小高い山に囲まれた要害の地。町全体が総構えの城郭になっている。治承4年(1180)反平家の兵をあげた源頼朝は弟義経の協力もえて壇の浦に平家を滅亡、鎌倉に幕府を開いた。源氏将軍3代のおと、藤原氏将軍が2代、親王将軍が4代続いたが、実権は代々執権職を継承した尼将軍として幕府基盤を確立した政子の実家、北条得宗家が握った。その8代がNHK大河ドラマの「北条時宗」。文永11年(1274)と弘安4年(1281)の2回蒙古襲来の国難を迎えるが撃退、北条鎌倉幕府の基盤を固めた。幕府はこのあと16代守時までつづく。元弘3年(1333)、倒幕をめざす新田義貞は稲村ヶ崎から鎌倉市中に突入、14代高時以下一族郎党1千人が菩提寺東勝寺で自決したので150年続いた北条氏も滅びた。
- ②鎌倉の町づくり=京都の皇居中心に対して、鎌倉(城)は信仰の地、鶴岡八幡宮を中心に、御所、役所などを隣接させた。町を走る縦のラインを大路、小路、横を逗子と呼ぶ。山側平地は武家地帯で中心に重臣を配し、庶民は海岸周辺に居住した。狭い土地を有効に活用するため谷地を開いて寺院を配置、当時の人口は5~6万人(多くて10万人)を数えた。
- ③鎌倉七口、切通し=周囲の山を切通して作った鎌倉(城)の虎口。七口は(1)極楽寺、(2)大仏坂、(3)化粧(けわい)坂、(4)亀ヶ谷坂、(5)巨福呂(こぶくろ)坂、(6)朝比奈、(7)名越の切通しをいう。難攻不落、10万の大軍を率いた新田義貞軍をも寄せつかなかった。
- ④鎌倉五山=禅寺の幕府公認寺格。1位建長寺。今日は2位円覚寺、3位寿福寺、4位浄智寺を回る。
- ⑤やぐら=貴人の墓。山壁に穴を掘って埋葬、五輪塔、宝きょう印塔などを立てた。一般人は浜地や山、谷などに土葬。現在でも掘ると人骨がでる。

【北条氏略系図】(数字は歴代執権)



- 2) 円覚(えんがく)寺(200円=各自払い)
 - ①北条時宗創建。時宗は国難に際して床の無学祖元のアドバイスを受けて強硬策をとる。祖元のために建造した禅寺。山を削り谷を埋めて平地を作り、床の禅寺様式にならって総門、山門、仏殿、法堂を直線に配置した。敷地面積2万坪、当時塔頭(支寺院)は40、現在17を数える。
 - ②白鷺池=放生池。左右対照に2池。県道の土塁は寺域を示している。横須賀線が境内を横切る。
 - ③総門、山門=受付を済まして石段を上ると見上げるばかりの楼門。天明年間建造の重要文化財。
 - ④妙香池=対岸の大岩は虎頭岩。虎の縞にみえれば禅の境地? なんだかわからないのが禅庭園の妙味と考えると信心不足も気にならない。
 - ⑤舍利殿=日本最古の唐様建築物で国宝。非公開、一部を垣間見る。米つぶほどの釈迦遺骨を祀る。
 - ⑥仏日庵=北条時宗夫妻、子貞時、孫高時を祀る。ドラマの主演・時宗は宝形造りお堂に眠っている。
 - ⑦方丈勅使門=寺に天皇の勅使を迎えるときの正門。(国宝洪鐘は見学しません)
- 3) 東慶寺(参道)
 - ①時宗の妻・覚山尼とその子9代貞時が開いた尼寺。覚山尼が開山にあたり「縁切り法」の制定を貞時に命じた。代々名門の女性を住職に迎えたので格式が高く当時の権力者の庇護をえて縁切寺が定着した。女性側から離婚できなかった封建時代、駆け込めば許されたが簡単ではない。
 - ②総門前の受付で事情聴取、夫が呼ばれる。妻は寺での3年間の修行をへて自由の身に。しかし恩典は1度だけ2度目はない。女性にちょっぴり福音? 厳しい時代は変わらない。
 - ③元和元年大阪夏の陣。燃盛る大阪城を脱出した徳川2代将軍秀忠の長女で豊臣秀頼の妻千姫。この脱出にしたがった1人に秀頼の娘がいた。千姫の嘆願で一命を取止め住職として余生をこの寺で送る。覚山尼と並んで墓碑が苔むす。(残念ですが境内には立入りません)
- 4) 浄智寺(参道)
 - 時宗の実弟宗政の菩提を弔うためその妻が建立。いま五山第4位の風格はないが、石橋から鐘楼門へかけての参道の風情は鎌倉の禅寺にふさわしい。



カンロのHP

きあさわ21



亀ヶ谷切通し



徳川忠長 9
供養塔 ↓

薬王寺 ↓



扇谷上杉邸跡

5) 鎌倉街道と明月院

- ①鎌倉街道=鎌倉から四方に開いた街道。市原にもつづく。
- ②明月院は時宗の父時頼が創建した最明寺の後身で時宗が復興した禅興寺の塔頭。時頼の墓所。時頼廟の宝きょう印塔に線香の煙が絶えない。アジサイ寺で有名だが今回は見学できません。

6) 亀ヶ谷切通し

- ①鎌倉七口の一つ。亀も引返したという急坂。バイクやサイクリング車が上れるよう改善されたが、かつての旧道一部も保存、守備側は崖上に陣取り、細い坂道を攻めのぼる敵兵を弓矢で攻撃。突破できそうもない。鎌倉を攻略した新田義貞も切通し攻めに失敗している。
- ②七口中、この切通しは旧状をよく伝えている。鎌倉には廃道となった切通し秘道も残っている。機会を作ってご案内したい。

7) 薬王寺、徳川忠長供養塔

- ①薬王寺=日蓮宗。日蓮の弟子日像が創建、寛永時代不受不施派となるが法度を恐れて改宗した。
- ②徳川忠長=2代将軍秀忠の2男で家光の弟。母お江の溺愛で3代将軍継承を噂されたが家康の反対で日の目をみない。成人後、大納言、静岡50万石を得るが家光と確執を生じ、寛永10年、高崎で生涯。28才。本墓は高崎の大信寺。妻織田信良娘北の丸殿が供養、追善菩提のため建立。碑銘は夫妻北の丸殿両親の法名を刻んでいる。

8) 岩舟地藏堂

- ①頼朝の長女で悲劇の大姫ゆかり。墓所とも。木曾義仲家に嫁ぐが夫が父に殺害され後を追った。
- ②本尊地藏尊は大姫の守本尊。小じんまりとした小堂だったが平成13年六角堂に改修。残念。
- ③岩舟地藏=石舟に乗った地藏立像。地藏の舟に乗れば必ず浄土に導かれるという。

9) 扇ヶ谷(おうぎがやつ)上杉管領(かんれい)邸跡

- ①扇ヶ谷=亀ヶ谷切通しの内側、鶴岡八幡宮の東側の谷地で平地が扇型をしている。
- ②上杉管領家=室町幕府が関東8か国と伊豆、甲斐を統括させた鎌倉府(公方)の補佐役。定正のとき家老・太田道灌の活躍で関東一円に勢力を伸ばしたが、中傷によって道灌を殺害、信望を失った。北条氏の台頭とともに衰え、憲政のとき上杉謙信にその家と職を譲った。

10) 英勝寺(総門=時間あれば寺内に。200円)

- ①太田道灌邸跡=関東管領・扇ヶ谷上杉定正の重臣で江戸城主。主人定正に暗殺される七重八重、花は咲けども山吹の、実の一つだになきぞ悲しき山吹の女伝説の地。東京周辺に7か所もある。
- ②英勝寺=寛永13年太田道灌の子孫で徳川家康の側室お勝(英勝院)創建。お勝は御三家水戸徳川初代頼房の養母でも。歴代住職に水戸家の姫君をいただくなど厚い保護を受けた。寛永建造の宝珠堂本尊は3代將軍家光寄進の阿弥陀三尊如来。水戸光圀寄進の金色に輝く英勝院御霊屋もみごと。
- ③総門=徳川家ゆかりの葵紋。開かずの門。山門工事中。鐘楼は江戸時代の建造物

11) 寿福寺(総門)

- ①北条政子創建。頼朝父義朝邸跡地で頼朝の当初幕府計画地。参道周辺は老樹が枝を広げ禅寺らしい雰囲気がある。立入らないが正面は仏殿、裏山山腹のやぐらに頼朝の妻北条政子、オイ公暁に暗殺された2代実朝の墓がある。
- ②裏山は源氏山。後3年の役のとき八幡太郎義家が奥羽遠征に先立って白旗を立て戦勝を祈願した。

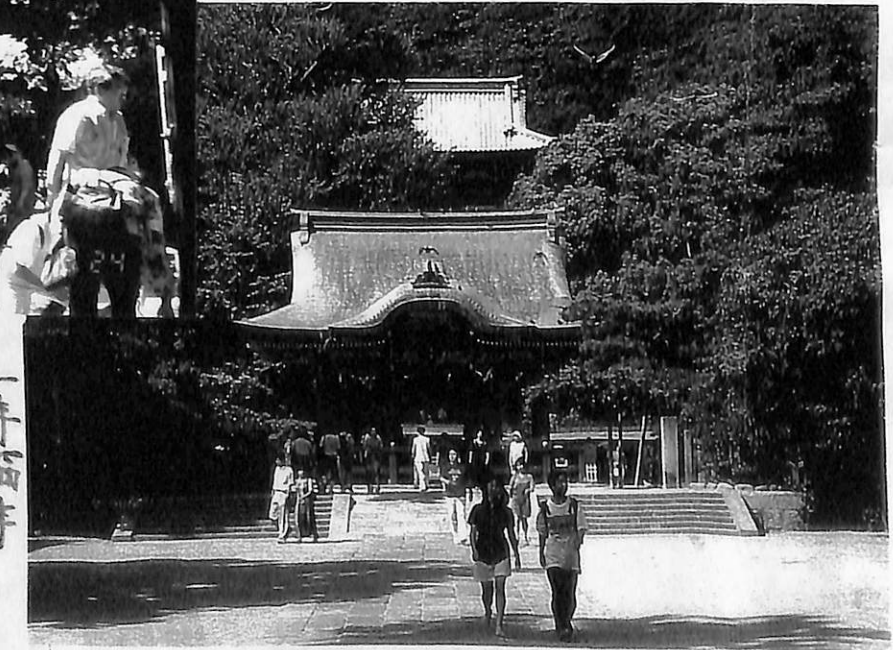
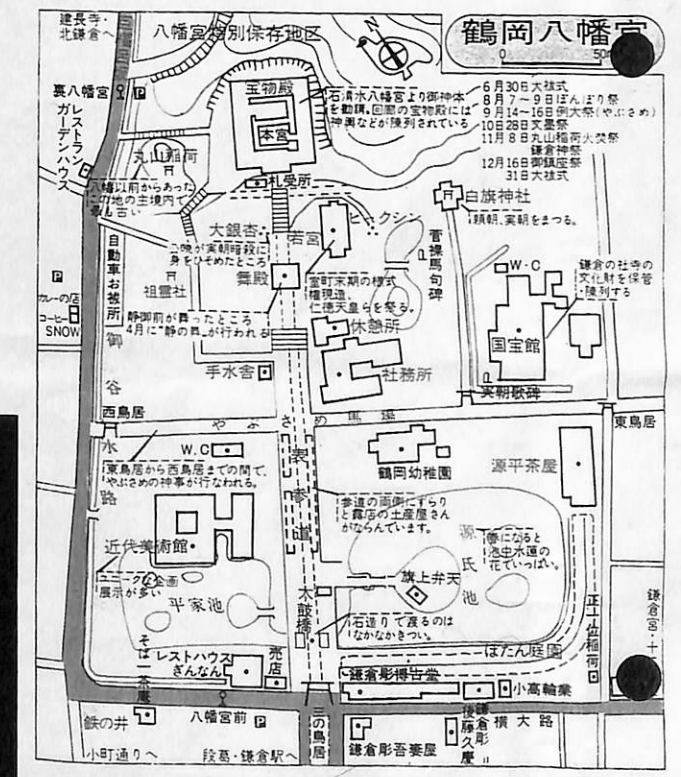
12) 鎌倉十井、鉄(くろがね)の井

13) 初代六波羅探題・北条時房邸跡

- ①北条家初代時政の2男。奥州討伐、畠山討伐などに活躍。初代六波羅南方探題を勤めた。
- ②六波羅探題は鎌倉幕府の京都支配拠点。京都の軍事、警察を掌握。南北2方があり、大河ドラマの時輔は格の低い北方、兄時宗に障りありとして暗殺される。



英勝寺 ↓



鶴岡八幡宮 ↑

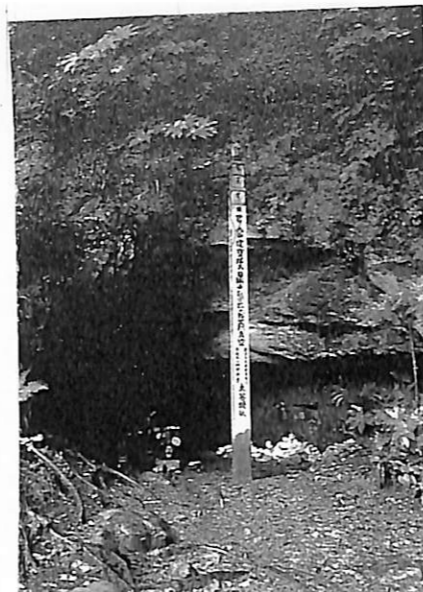
谷地=山

1 4) 鶴岡八幡宮 (昼食休憩=13時ころからおよそ45分)

- ① 頼朝の先祖頼義が奥州平定をなしとげたとき、由比ヶ浜近くに京都石清水八幡宮を勧請、源氏の守り神としたのがはじまり。治承4年関東の豪族を従えて凱旋した頼朝は鎌倉の地を本拠と定め、八幡宮を現在地に移した。幕府は主要公式行事を八幡宮で開催するなど信仰と権威高揚の場として活用、以降、鎌倉府、北条氏、徳川將軍家の庇護をうけた。
- ② 3の鳥居と神橋=海岸側から数えて3つめ、最後の鳥居。太鼓橋の神橋は一気に駆け上ると出世、女性は安産に恵まれる。とはいえ急坂、妊婦のトライはやめた方がよさそう。
- ③ 源氏池 (昼食休憩)=放生池。頼朝鎌倉入り直後の養和2年(1182)造築。東が源氏池、3島に白蓮を植え源氏の繁栄を祈願、西は平家池、4島に赤蓮、平家の衰亡を祈った。
- ④ やぶさめ小路、やぶさめ馬場跡=文治3年(1187)頼朝が平家滅亡の滅罪のためはじめた放生会から。東の鳥居から騎乗した射手が途中3か所の的を射る。多数の見物客を前に腕自慢の鎌倉武士が騎射を競った。現在も9月15日に行なわれている。
- ⑤ 舞殿=文治2年(1186)義経の側室で元白拍子、静御前が舞ったとされる舞台 (実は若宮回廊)。義経と逃亡、捕らわれた静は鎌倉に送られてくる。頼朝のたつての所望でシブシブ舞うが義経への恋歌だったため頼朝の逆鱗にふれ、政子がその場を取持った。生まれた義経の子は殺害された。
- ⑥ 若宮=治承4年(1180)頼朝が最初に移築した当時の本宮。現在の建物は寛永元年(1624)徳川2代將軍秀忠の造営、重要文化財。
- ⑦ 大銀杏、かくれ銀杏=樹齢1,000年(700年とも)鎌倉の歴史をながめつけた老樹。周囲7、高さ30メートル。承久2年(1180)右大臣就任式で退出する3代將軍実朝を大銀杏に潜んだオイ公暁が暗殺、その場で公暁も殺され源氏の血統が絶えた。
- ⑧ 本宮楼門=正面石段上に聳える鶴岡八幡宮のシンボル。二重門。入母屋屋根、本瓦葺き、高覧付き、神額「八幡宮」。岩絵の具極彩色、華麗な彫刻もみどころ。両脇に随臣像。脇門からの回廊が本殿を囲む。
- ⑨ 御社殿 (本宮)=建久2年(1191)創建、現在の建物は文政11年(1828)徳川11代將軍家斉造営。関東大震災倒壊、大修築。重要文化財。権現造り (本殿、幣殿、拝殿) 極彩色が美しい。回廊の一部が宝物殿になっているが今回は拝観しません。

1 5) 北条執権館 (得宗家) 跡、宝戒寺

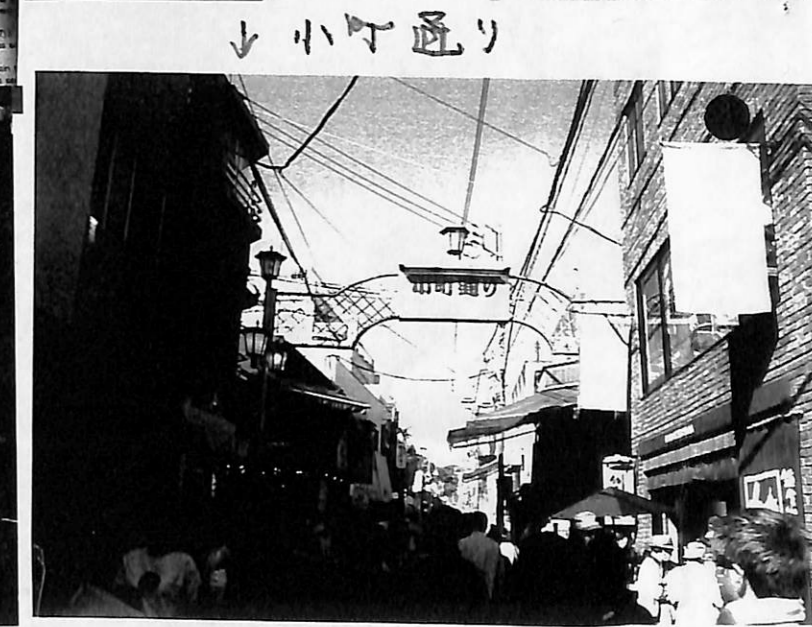
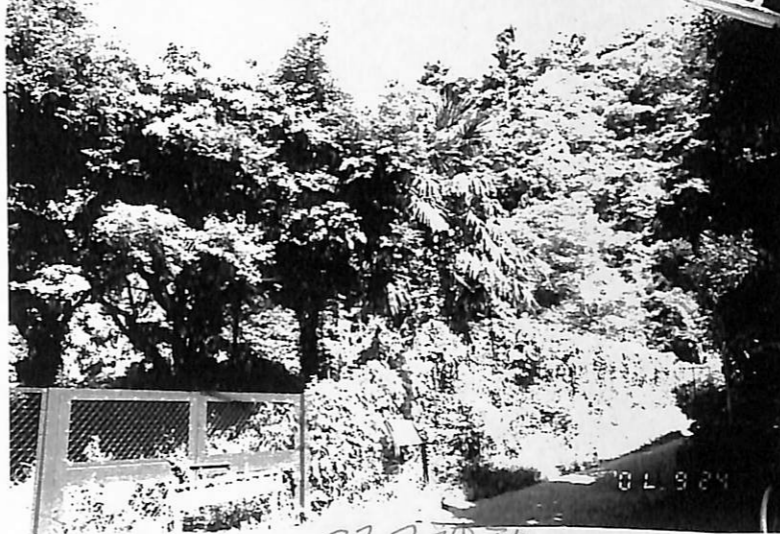
- ① 嘉禎2年(1236)3代泰時以降、元弘3年幕府滅亡までの北条執権邸。大河ドラマの時宗は長谷の母実家安達邸で生まれ、得宗家に居住、弘安の役2年後(1284)に34才で逝去した。
- ② 時宗までが全盛。後期は一族間の権力争い、不正、賂政治がつづき人心を失い御家人も離反、14代高時は政治を放任、遊びほうけた。
- ③ 建武2年(1335)建武の新政なった後醍醐天皇が、滅亡した北条氏の霊を弔うため足利尊氏に命じて宝戒寺を建立。萩寺として有名。北条氏の家紋ミツウロコも注目したい。



4:46
高時腹切りやぐら
←↑
国指定史跡 東勝寺跡
平成10年7月21日 指定
中興の13世紀前半に鎌倉幕府の3代執権北条時宗が創建した寺跡です。
1333年、新田義貞の鎌倉攻めの際、北条時宗以下一族がここにたてこもって戦死を遂げました。
戦後、この地に東勝寺が建てられ、寺名は「東勝寺」となりました。
寺跡には、時宗の墓所、時宗の御所跡、時宗の御所跡に隣接する石室跡などがあります。
また、寺跡には、時宗の御所跡、時宗の御所跡に隣接する石室跡などがあります。
また、寺跡には、時宗の御所跡、時宗の御所跡に隣接する石室跡などがあります。



東勝寺跡 ↓



↓小町通り

執権館跡
←

↓宝戒寺



1 6) 東勝寺跡、高時腹切りやぐら

- ① 東勝寺は北条一族の菩提寺。東勝寺橋から先谷地全域が寺跡とみられる。正慶2年稲村ヶ崎から攻入った新田義貞軍に追詰められた14代高時、15代貞頼、16代守時の3執権は、一族282人、郎党870人とともに燃えあがる鎌倉の町をみながら自害した。
- ② 東勝寺跡史蹟板、東勝寺旧蹟碑、高時腹切りやぐら=鎌倉時代の終焉に散った武将らのやぐらはいっつも悲しい。土佐の坊屋後邸跡 ↓ 1152ト

1 7) 若宮御所跡 (鎌倉城の本丸ともいえる)

- ① 嘉禎2年(1236)から鎌倉幕府滅亡までの幕府政庁兼將軍居館跡。この間、藤原2代頼経、頼朝、皇族4代宗尊、惟康、久明、守邦の6將軍をすげ替えたが、執権北条氏がカイライ將軍をあやつる。皇族から幼將軍を擁立、長じて京都に戻した。
- ② 御所は大蔵、宇都宮、若宮と市中を交遷。天災や不幸時、立地は占いで決定した。
- ③ 御所は寝殿、庭園、大御所、小御所、侍所、馬場など。周辺に公文所、問注所などの官庁舎をおいた。およそ6万㎡、周囲を巾3、深さ1.5mほどの箱堀 (空堀) で囲った。

1 8) 若宮大路段かざら

- ① 寿永元年(1225)頼朝が初代執権時政らに命じて作らせた政子の安産祈願参道。当時未整備だった若宮大路段の中央に段石を積上げた。
- ② 現在は2の鳥居から3の鳥居まで500m、当時は海岸まで。道巾は先に行って狭い。遠近法を活用、最大巾33、箱堀両側3m。両側に反対向け重臣邸の裏堀が続いた。
- ③ 聖なる大路。信仰、権威演出用道路。庶民は立入れない神聖な参道でもあった。

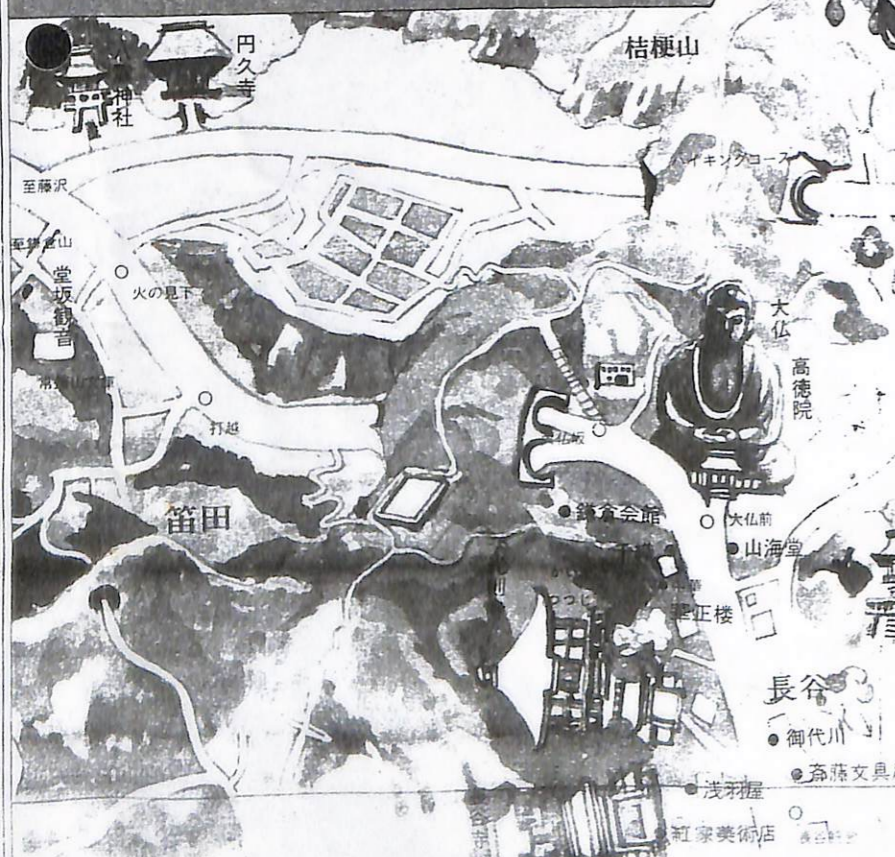
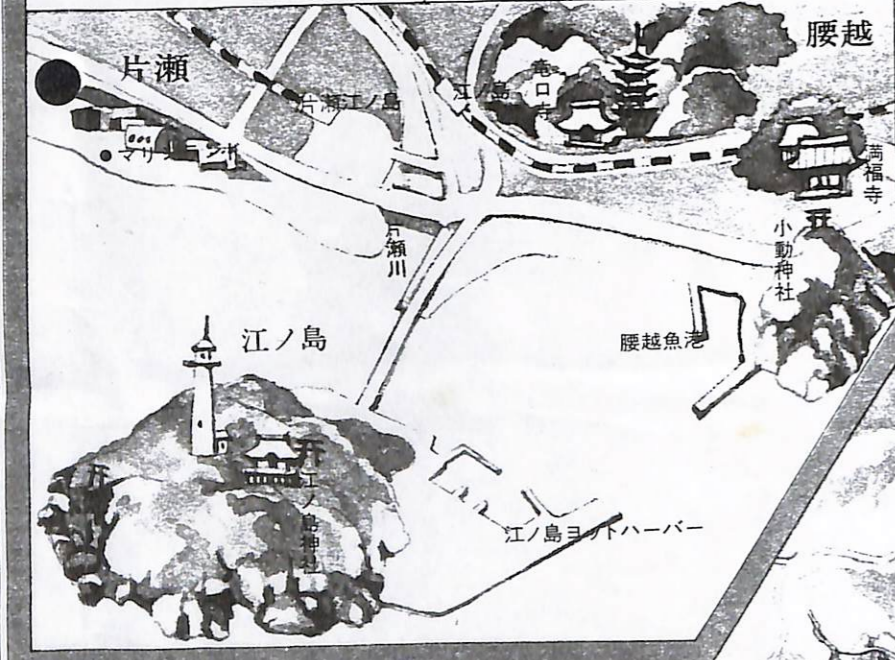
1 9) 小町通り (自由行動)

乗車時間まで自由行動。お買物をお楽しみください。

参考) 次回は12月6日 (木曜日) 「湯島、本郷を歩く」。詳細は予告編を参照ください。



鎌倉の道





城と史蹟を歩く会 『鎌倉に北条時宗を歩く』

7回

ALBUM

2001

11/18(日)

八幡宿7時13分乗車(前の方) — 千葉駅7時34分(⑦番線総武快速、前1~3両分散乗車)北鎌倉9時05分 — 円覚寺 — 東慶寺 — 浄智寺 — 亀ヶ谷切通し — 薬王寺 — 英勝寺 — 鶴岡八幡宮(昼食) — 宝戒寺 — 東勝寺跡、高時腹切やぐら — 若宮大路幕府跡 — 若宮大路、段かざら — 小町通り(自由行動) — 鎌倉16時45分乗車(最後尾車両) — 八幡宿駅18時4分着

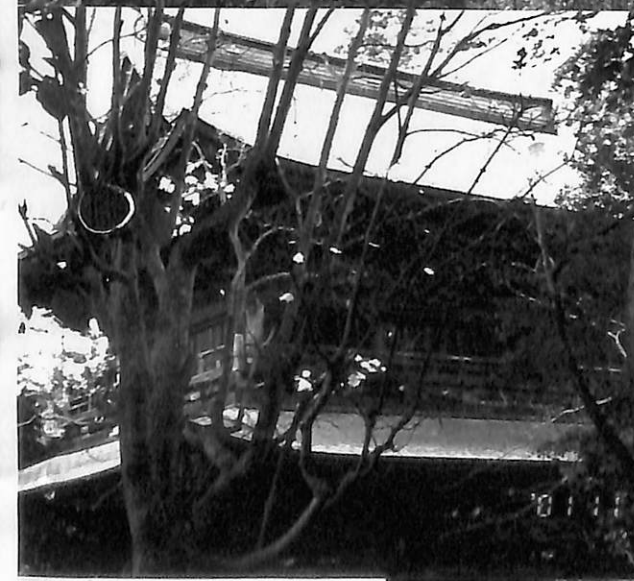


↑↑鶴岡八幡宮

参加者 35名
横浜 国分三男 市原、
二葉内 山岸 明 42-2237

↑浄智寺 ↓薬王寺

↑東慶寺 ↓岩船北蔵



円覚寺 ↑↑



↑北条政子のやぐら
尾ヶ谷切通し →



東勝寺高時
腹切やぐら
次回は
相回12/6(木)
駒島本町を歩く
乞うご期待